

# お知らせ

INFORMATION

No.2026-11

2026年5月

病体生理研究所

## 嫌気用カルチャーボトルの変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。



カルチャーボトル嫌気用 (BD バクテック™血液培養ボトル) について変更させていただきますのでご案内致します。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 【カルチャーボトル嫌気用変更内容】

カルチャーボトル 細菌⑤	検査案内 P.110
新	現
嫌気用 (紫)	嫌気用 (金色)
	
<p>※ 採取量・保存方法については変更ございません。 ※ 現容器での提出も可能です。 ※ 好気ボトルについては変更ございません。 ※ ボトル変更によるメリットについては裏面をご参照ください。</p>	

《提供開始日》 現容器の在庫が無くなり次第変更させていただきます。

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 電話 03-3956-4101 (代表)

## 《変更によるメリット》

- 嫌気リティックボトルにはサポニンが添加されており、血液を溶血することによって白血球に貪食された細菌を培地中に放出し、起炎菌の検出率向上が期待出来ます。
- 溶血させることで血球中に含まれる細菌の発育因子を培地中に放出し、検体中に含まれる細菌の発育を促進します。
- 抗菌薬未投与の患者群において、好気レズンボトル(変更なし) + 嫌気リティックボトル(変更するボトル)の組み合わせは、従来のボトルセットと比較し、陽性検出率が6.7%向上、陽性検出時間が平均約2.7時間短縮されることが期待されます。<sup>※1)</sup>
- 血液培養時の起炎菌となる可能性が高い、*Escherichia coli* や *Staphylococcus aureus* の検出率または検出時間の向上が報告されています。<sup>※1)</sup>

※1) 出典 Journal of Microbiological Methods 130 (2016) 129-132  
PLOS ONE | DOI:10.1371/journal.pone.0142398 November 10, 2015

以上